



Miyazaki Higashi Weekly



D 2 7 3 0  
Rotary Club of Miyazaki Higashi

No. 13

October 25, 2021

President : Kumi Iwakiri  
Secretary : Yasuhide Hiraki

Tasaki Bldg.13-8,Miyata-cho,Miyazaki,Japan 880-0804  
Tel: 0985-24-4872 Fax: 0985-22-0288

2021~2022年度  
国際ロータリーのテーマ

# 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために 入りて学び、出でて奉仕せよ

## 会長タイム

岩切 久美 会長



皆様こんにちは。本日は今年度 RI 会長が掲げられました（女子のエンパワメント）についてお話をさせていただきます。

まずエンパワメントについてですが、日本では能力開化や権限付与とも言い、エンパワメントの考え方は昨今大きな広がりを見せ、保健医療福祉、教育、企業などでも用いられており、人々に夢や希望を与え勇気づけ、人が本来持っている素晴らしい生きる力を湧き出させることと定義

されています。力を与える empower から発生したもので、組織を構成する一人一人が力をつけ、自らの意思決定により自発的に行動を起こして行こうとする考え方のことを言うそうです。しかしメリット、デメリットもあり、会員の皆様は経営者の立場の方なので、各企業におけるエンパワメントのメリットを調べてみましたのでお話をさせていただきます。

現場などで問題が生じた時、一般的にはその都度上司の指示や判断を仰ぐ必要があります。しかしエンパワメントによって部下に権限が与えられていれば、上司の回答を待つことなく課題解決に素早く取り組むことが出来ます。無駄な時間を削減することが可能になります。そしてお客様からクレームがあった場合、その解決に時間が掛かる場合と、その場ですぐに対応して解決するのでは、同じ解決策を提示したとしても顧客に与える印象に大きく差が出てしまいます。現場で柔軟かつ迅速に対応することができれば、結果的に顧客満足度の向上に繋がります。そして、これまで

### 今週のプログラム

第1015回 例会 2021年10月25日(月)  
・会長タイム ◎夜間例会  
・幹事報告 ニューウェルシティ宮崎  
・委員会報告 18:30 ~

### 来週のプログラム

第1016回 例会 2021年11月1日(月)  
・会長タイム ◎セレモニー  
・幹事報告 ◎クラブ協議会  
・委員会報告 (田島ガバナー補佐出席)

のように上司に指示を仰ぎ指示された通りに実行すれば良かったケースと違い、自分が決定した判断に対して大きな責任が生じます。どのように迫ればよいかというプロセスを含め、物事を自発的に考えざるを得ない状況になるため、当事者意識を持って仕事に取り組む事ができるなど、働く姿勢を見直すきっかけになるはずです。自発的に考え仕事に取り組む事ができればパフォーマンスにも大きな差が生まれます。課題を解決したり目標達成することができたりと、成功体験を積む事で次の仕事へのモチベーションにもプラスに働くはずです。そして、これまで上司がどのような判断や指示出しをしてきたのかを振り返り、そこにどのような意図があったのかを理解するいい機会にもなります。結果を残すためにどうすればよいかを考えて行動する力を身につける事でマネジメント能力も身につきます。

そしてエンパワーメントを進めるデメリット、リスクですが、それぞれの考えるバラバラな基準で物事を判断してしまえば、組織の一体化や目標が失われ、さまざまな弊害が発生してしまいます。自分で意思決定が出来る社員ばかりではなく苦手な社員や、まだそのレベルに経験や知識が達していない社員もいると思います。そういった人に権限を与えれば大きなプレッシャーとなってしまうたり、業務過多になってしまうこともあります。

エンパワーメントの最終目的は組織のパフォーマンスを最大限に高めるところで、権限を与えることはあくまで手段でありそれが目的になってはいけません。エンパワーメントを実践する為には、上司はまず部下を信頼しなければなりません。部下の仕事に介入し過ぎたり何でもかんでも口を出してしまうと、エンパワーメントは機能せず形式だけのものになってしまいます。適度な距離を保って、しっかりコミュニケーションをとり成長をフォローしていくことが大切です。とありました。

では(女兒 女性のエンパワーメント)についてですが、女兒、女性のエンパワーメントと言う考え方はジェンダー問題、すなわち性差別の問題

を前提としたものです。この令和の時代になっても未だ日本人男性の中では男女の平等という事を受け入れられない認められないといった時代遅れな方が大勢いらっしゃいます。有難い事に私はこの東ロータリークラブの初の女性会長を務めさせていただき、そして会社経営者という立場に居させていただいております。ですが、男性のお客様に名刺をお渡しした時など代表取締役社長という文字を見て鼻で笑われた事もありました。

世界に目をむけると十分な教育を受けられなかったり、子供のうちに結婚させられ子供を産ませられたり、売春など無理な仕事を強いられたり、未だ多くの女兒や成人女性は様々な分野で不公平、暴力や貧困に直面しています。RI会長はロータリーはクラブと地区が地元と海外における女兒の健康・福祉・教育・経済的安定を向上させるプロジェクトを優先すること。女兒を守り、その地位向上を図るプロジェクトに地域社会の人々が参加出来るよう、クラブ主動の取り組みや地区補助金とグローバル補助金を活用した取り組みを立ち上げましょう。生活向上の為のリソースに女兒がアクセス出来るようにすることで公平差を高めましょう。と仰られております。今年度にプロジェクトを立ち上げ活動することは現実的ではありませんが。

このエンパワーメントについては、計画戦略に取り入れても良いのではないかなと思いましたがので次年度、次々年度会長は検討してみたい。

最後に余談ですが、海外のお医者さんが体の一部の組織を採取し、それらから妊娠することが可能だという研究をし論文を出されたそうです。そうすると将来、子孫を残すために男性は必要ないということになります。私個人的には、それでは困ります。女性のくせに、母親だから、男だからなどと言った差別的発言がなく同じ人間として平等に生きられる社会になる事を私も強く望みます。

以上、本日の会長挨拶とさせていただきます。

## 社会奉仕委員会アワー

森重 文彦 委員長

社会奉仕の青島学園での秋楽祭は、コロナの関係で、今年いっぱい外部との接触を避けるために中止が決まりました。

よって今年の青島学園の訪問等は、行うことができなくなりました。

来年の参加を期待したいと思います。

児童福祉施設とは、端的に説明すると子どものための保育、保護、養護を行う施設のことです。

児童福祉法によれば、児童福祉施設は次のように定義されています。

「児童福祉施設とは、助産施設、乳児院、母子生活支援施設、保育所、幼保連携型認定こども園、児童厚生施設、児童養護施設、障害児入所施設、児童発達支援センター、情緒障害児短期治療施設、児童自立支援施設及び児童家庭支援センターとする。」

このように、一言で児童福祉施設と言ってもさまざまな種類があるのです。

乳児院とは、親が面倒を見るのが難しくなってしまった乳児を保護するための施設です。

乳児の定義は生後1年以内の子どもとされていますが、それだけでなくもう少し大きい子どもが乳児院を利用していることもめずらしくありません。

子どもが乳児院に入所する理由は、親の虐待や経済的な理由などさまざまです。

乳児院を出るとき、子どもは両親や親族に引き取られたり、里親を見つけその人と生活をともにしたりと新しい生活を見つけていきます。

いずれも叶わなかった場合、児童養護施設へ転所することになります。

## 2021 - 22 年度 ガバナー公式訪問スケジュール

公 式 訪 問 予 定 日	2021年11月15日(月)
会長・幹事・エレクト懇談会	12:00～12:20
ガバナー公式訪問	12:30～13:05
ク ラ ブ フ ォ ー ラ ム	13:05～13:30 発表者 山口 登幸 会員・野崎 伸一 会員 鳥越 逸雄 会員
記 念 撮 影	13:30～13:35

ロータリー米山奨学会 豆辞典で  
都原会員が掲載されました！



**ロータリー米山記念奨学会の特長**

交流を大切にしています。奨学生は毎月1回以上、世話クラブの例会に出席し、会員との交流によって日本の社会を知り、ロータリークラブについて学びます。また、奨学期間終了後も「ロータリー学友」として、国際ロータリーの国際的コミュニティに参加することができます。

**1 世話クラブ・カウンセラー制度**  
奨学生一人ひとりに地区内のロータリークラブが「世話クラブ」となります。奨学期間中、奨学生は世話クラブで奨学金を受け取り、交流します。さらに、世話クラブの会員が「カウンセラー」となって、日常の相談役をつとめます。

**2 民間最大の国際奨学事業**  
2021年度度の奨学生数は910人、事業費は14億5千万円（2020-21年度決算）と、外国人留学生を対象とする民間奨学金では国内最大規模です。これまでの累計奨学生数は22,267人（2021年7月現在）、その出身国は世界129の国と地域に及びます。

米山記念奨学事業は、国際ロータリーから認められた日本のロータリー全地区による多地区合同活動です

外国人留学生の支援を通じ、日本と母国との平和の懸け橋になる人材を育て、国際親善に寄与しています

スマイルBOX

都原 清次 君

2021-22 米山記念奨学会の豆辞典のP-4にヤサ・ウマル君夫妻と私と妻4人の写真が載っていました。いい思い出です。

中村健一郎 君

業界平均年令 65才+3才 まだ中堅、頑張ります！

例会記録 第1014回 2021年10月18日(月)

プログラム

・会長タイム ・幹事報告 ・委員会報告

◎社会奉仕委員会アワー

森重 文彦 委員長

幹事報告

- ・「日本のロータリー 100 年を紐解く」が発刊されました。御覧の通りで金額は 6.600 円です。  
必要な方は事務局まで注文をお願いします。
- ・本日会員の皆様 BOX に 2021-2022 ロータリー米山奨学事業 豆図鑑の 4 ページに我がクラブ 都原会員ご夫妻のお写真が記載されております。  
全国版ですので非常にうれしい限りです。都原会員ありがとうございます。是非スマイルも宜しくお願い致します。
- ・今週土曜日 IM が開催されますので、我がクラブは 16 名の参加予定です。時間前には集合宜しくお願い致します。
- ・来週 10/25 日は夜間例会ですので多数出席宜しくお願い致します。
- ・本日東クラブのグループライン開設いたしましたので会員の皆様会員の招待お願い致します。また欠席などの事案なども活用お願い致します。



出席状況報告

10月18日	第1014回	10月4日	第1012回
会員数	30名	会員数	30名
出席数	24名	出席数	20名
出席率	80.00%	修正出席率	66.67%

メーキャップ 前取り：中川 彰伸 君

メイキャップを積極的に行いましょう。